

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公表番号】特表 2002-510792(P2002-510792A)
 【公表日】平成 14 年 4 月 9 日 (2002.4.9)
 【出願番号】特願 2000-542625(P2000-542625)
 【国際特許分類】

G 0 1 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 21/00 P

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 12 月 27 日 (2005.12.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 2 9】

平らな環状ゾーン 2 0 , 即ち部分 1 2 の下面に設けられた環状形状が、ばね 1 5 によって、部材 4 の上部分の対応する平らな環状ゾーン 2 1 に押し付けられ、可動アームセット 7 をケーシング 1 に関して強制的に閉鎖する第 1 拘束システムを提供する。この拘束システムは、ばね 1 5 によって加えられる軸線方向予荷重によって閉鎖され、長さ方向軸線 Z に沿った並進及びデカルト座標系の横方向軸線 X 及び Y を中心とした回転に関する 3 度の自由度をなくす。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 0】

図 1 0 は、本発明の別の実施の形態を部分的に示す。この実施の形態は、主に、実質的に環状形状の平らな環状表面を持つ第 1 拘束システムに代えて別の拘束システムを用いる点、及び回転対称の構造を持つが表面が Z 軸に対して傾斜している点で、図 1 乃至図 9 に示す実施の形態と異なっている。詳細には、プローブのケーシング 5 0 の下部ベースは、可動アーム 5 1 を通すための開口部と対応して、截頭円錐形状の表面 5 2 を画成し、この表面が、可動アーム 5 1 に固定された半球形又は球形のセクタの形状を持つ要素 5 3 と協働する。